

詳細調査「医学的検査担当者研修」が当センターで開催されました

メディカルサポートセンター（石塚・小西・佐々木）

エコチル調査では、来年度から一部の参加者（5,000人）を対象とした詳細調査（医学的検査・精神神経発達検査）が始まります。そこで、2015年1月26日に国立成育医療研究センター講堂にて、国立環境研究所（コアセンター）主催の「医学的検査担当者研修」が開催されました。メディカルサポートセンター（以下、MSC）は講演や実習講師ならびに設営などを担当しました。

今回の研修は、詳細調査で実施する予定の医学的検査（主に身体計測・血圧測定・皮膚観察・採血検査など）に携わるスタッフを対象に行われました。今回は2歳児のお子さんを対象にするという前提で、MSCのスタッフから「調査を目的とした検査を行う場合の留意点」「参加者への配慮」「調査データの精度を保つ上での測定や介助のポイント」などを講義・実習形式で説明しました。また桃山学院大学法学部永水裕子先生に「未成年者の医学研究への参加について」ご講演を頂きました。

研修の最後には、ユニットセンターごとに分かれ、グループワークを行いました。それぞれの施設の強みや問題点をスタッフ間で共有し、医学的検査の実施に向けて具体的なプランを作成して頂きました。

エコチル調査は赤ちゃんがお母さんのお腹にいる時から13歳になるまで継続する長期的な調査です。まだまだ道のりは長いですが、コアセンター、MSC、ユニットセンターが連携し、参加者の皆さまと共に歩んでいけることを強く願っております。

実習とグループワークの様子：参加者100名を超える活気あふれる研修会でした



上段左（二村先生：血圧測定&皮膚観察）上段右（目澤先生：身長体重頭囲測定）下段左（山本先生とご協力頂いた成育CLSのみなさん：採血介助・声掛け）下段右（小西先生の講義後グループワークに取り組むUCスタッフのみなさん）